

## オープン市場短信 (2020年9月)

2020.9.9

### ◆ 8月のCP市場動向

8月末のCP市場残高は25兆6,394億円(前月比+1,167億円、前年同月比+4兆2,980億円)と連月で過去最高を更新し、42カ月連続の増加となった。月中においても25兆円台後半と高水準で推移し、日次ベースで初めて26兆円を上回り過去最高を更新した(27日:26兆866億円)。業態別残高では、一般事業法人が11兆6,712億円(前月比+2,508億円)と増加した。一方、その他金融は10兆4,095億円(同△63億円)、金融機関2兆1,920億円(同△893億円)、ABC P1兆3,730億円(同△385億円)とそれぞれ減少した。発行レートは、引き続きマイナスから0%近辺での横ばい推移での出会いであった。

#### 【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(a-1+格) 0.000%割れ 一般事業法人(a-1格) 0.000%割れ~0.100%  
 その他金融銘柄(a-1格) 0.000%割れ~0.100%

#### 【業態別残高内訳】

(単位:億円)

業 態	8月末残高	7月末残高	増 減
一般事業法人	116,712	114,204	2,508
その他金融	104,032	104,095	-63
金融機関	21,920	22,813	-893
政府系金融	0	0	0
銀行等	5,170	5,070	100
証 券	16,750	17,743	-993
ABC P	13,730	14,115	-385
計	256,394	255,227	1,167

(注:買入消却分含む)

#### 【格付け別の発行レート】

格 付	1カ月		2カ月		3カ月	
a-1+ (一般事業法人)	-0.015%	~ 0.000%	-0.016%	~ -0.010%	-0.013%	~ -0.010%
a-1 (一般事業法人)	-0.016%	~ 0.011%	-0.020%	~ 0.008%	-0.022%	~ 0.100%
a-1+ (リース銘柄)	0.0000%	~ ——	0.000%	~ ——	——	~ ——
a-1 (リース銘柄)	0.035%	~ ——	0.040%	~ 0.100%	0.0000%	~ 0.100%
a-2	0.045%	~ ケ0.50%	——	~ ケ0.75%	0.1500%	~ ケ1.00%

## «CPオペ»

CP等買入オペは、月間で合計1兆2,000億円（前月比△6,000億円）で実施された。18日オファターのオペは、夏季休暇もあって発行が少ない中、ディーラーの売却ニーズが後退したことが影響し、応札額は5,452億円と2014年6月以来の未達となった。按分レートは△0.058%となり前回比（7/29：△0.005%）大幅に低下した。26日のオペは、前回結果を受けてさらなる低下予想も聞かれたが、結果は応札額が9,802億円と前回オペを大きく上回る積極的な応札となったため、按分レートは0.028%に上昇した。

〈月末オペ残高：4兆6,684億円〉

## 【日銀CP等買入れオペ実績】

（単位：億円）

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
8月18日	8月20日	6,000	5,452	5,392	-0.058%	-0.017%	全取
8月26日	8月28日	6,000	9,802	5,977	-0.028%	-0.023%	56.3%

## «ABC P»

ABC Pは、1兆3,730億円と前月比△385億円減少し、前年同月比では2,138億円増加した。

## «短期社債登録状況»

証券保管振替機構によると、8月末時点における発行登録企業数は、西日本鉄道が新規登録を行い532社となった。

## «CP現先市場»

現先（S/N）レートは運用ニーズ変わらず、マイナス～0%近辺での出会いであった。

## ◆ 9月のCP市場動向

9月のCP発行市場は、中間期末の有利子負債の圧縮目的で月末残高を調整する動きや月中の償還も少ない為、やや閑散な取引状況が予想される。9月末の償還額は2兆3千億円程度となっており、月末発行残は23兆円台半ばを予想

する（前年：17兆5,557億円）。また、一般事業法人がコロナ禍の影響で予防的に資金調達を進めた結果、発行残高は昨年比4～5兆円程度積みあがっており、現在も25兆円台後半で推移するなど高水準を維持している。企業のCPによる資金調達は、コロナ禍による先行き不透明感と良好な発行環境もあって、期明け以降も増加傾向が継続すると思われる。

発行レートは、玉不足感が強く銘柄・期間によっては、マイナスレートの深掘りが進むと思われる。一般事業法人（a-1格付）の銘柄でマイナス～0%近辺、その他金融・リースの銘柄（同格付）はマイナス～0.10%近辺でのワイドレンジを予想する。

#### 《CPオペ》

CP等買入オペは、3日・15日・25日のそれぞれ6,000億円のオファー予定で合計1兆8,000億円となっている。3日のオペは、予定通り6,000億円でオファーされ、結果は按分レート $\Delta$ 0.042%（前回 $\Delta$ 0.028%）・平均落札レート $\Delta$ 0.018%（前回 $\Delta$ 0.023%）と案分レートが低下し、平均落札レートは上昇した。次回以降については、四半期末要因も手伝い発行の減少が見込まれる為、ディーラーの売却ニーズも消却的になり、按分レートは低下方向を予想する。

#### 《CP現先市場》

CP現先レートは、変わらず0%近辺での出合いを予想する。

\* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【8月末発行残高 上位10社】

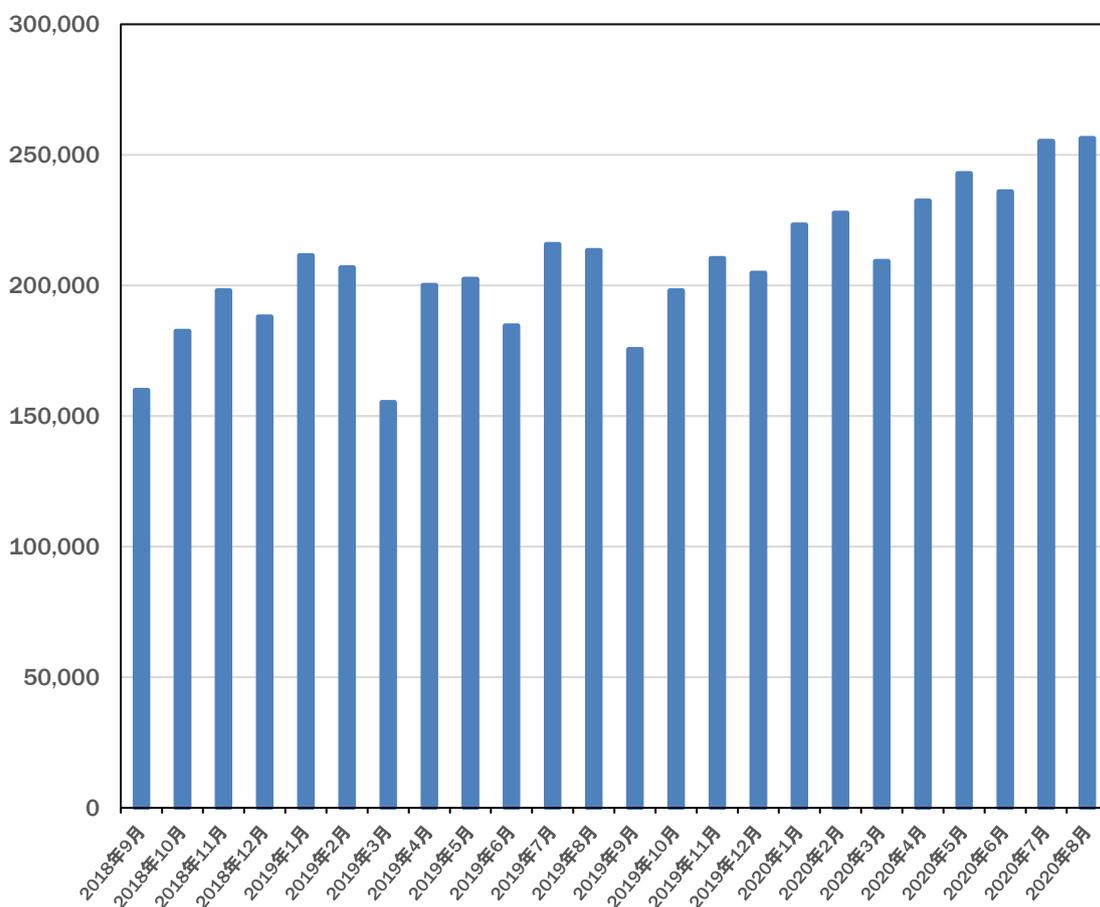
(単位：億円)

	発行企業名	8月末残高	7月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	15,200	15,290
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,609	9,919
3	三菱商事株式会社	9,409	7,799
4	みずほリース株式会社	5,496	5,499
5	三菱UFJリース株式会社	5,252	5,808
6	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	5,263	5,279
7	三菱重工業株式会社	5,070	5,070
8	パナソニック株式会社	5,040	6,320
9	株式会社日立製作所	5,000	4,150
10	東日本旅客鉄道株式会社	5,000	3,850

【短期社債市場残高】

(2018年9月～2020年8月)

(単位：億円)



---

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

大阪本社 〒 541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号

東京本社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号

加入協会 日本証券業協会